

2024年11月12日

トリナ・ソーラー、世界経済フォーラム 「2024年 産業変革と脱炭素化」サミットに登壇 ～クリーンエネルギーとデジタル化の融合を推進～

太陽光エネルギー分野におけるイノベーションで世界をリードするトリナ・ソーラーTrina Solar Co., Ltd. (SH:688599) (以下「トリナ・ソーラー」または「同社」)は、10月22日から23日にかけて東京で開催された、世界経済フォーラム「2024年産業変革と脱炭素化の加速」サミットに登壇し、エグゼクティブプレジデントのヘレナ・リ氏が「デジタル時代の力を引き出す: ICT とクリーンエネルギーの調和による持続可能な未来の創造」というテーマで講演を行いました。



リ氏は、デジタル化と AI の時代において、クリーンエネルギーと ICT 分野の相互作用がもたらす成長の可能性について説明しました。特に、ICT 業界の拡大に伴い、データセンターにおけるエネルギー消費の削減や炭素排出抑制のための効率的な冷却と電力管理技術の重要性が高まっていると述べました。国際エネルギー機関(IEA)によると、データセンターは世界の電力消費の約1%を占め、再生可能エネルギーの利用が重要な課題となっています。

また、電力システムのデジタル化が進む中、スマートグリッド、リアルタイム監視、データ解析、需要応答といった ICT 技術の活用により、エネルギー効率やシステムの柔軟性が向上しています。リ氏は、発電から管理、消費に至る包括的なエネルギーサービスを提供しているこのような技術が、次世代のエネルギーシステム形成に貢献していると主張しました。

さらにリ氏は、新エネルギーやエネルギー貯蔵技術の発展により、エネルギーがサービス指向のプラットフォームへと変革していると述べました。トリナ・ソーラーは、太陽光発電、蓄電池、水素発電所などを含むエネルギー管理のトータルソリューションを提供しており、顧客のエネルギー転換ニーズに対応しています。たとえば、中国河北省に位置する XunCloud データセンターでの 4MW ソーラープロジェクトは、今後 25 年間で 1.18 億 kWh のグリーン電力を供給する予定です。また、モルディブでは、同社のスマートマイクログリッドシステムがディーゼル発電機に代わり、27 の島にクリーンエネルギーを提供しており、約 11,000 人の生活を支えています。こうしたソリュー

ションは、エネルギーシステムの柔軟性と持続可能性を高め、未来のエネルギーの安定供給に貢献しています。

最後に、リ氏は、スマートクリーンエネルギーとデジタル化の発展には、政府の政策支援に加え、産業を超えた協力が不可欠であると述べ、持続可能なエコシステム構築への協力の必要性を訴えました。このディスカッションでは、持続可能な成長に向けた ICT 業界とクリーンエネルギー分野の連携の重要性が改めて強調されました。

トリナ・ソーラーは「太陽光エネルギーをすべての人に」というミッションのもと、今後も技術革新と連携を通じ、インテリジェントな太陽光発電やエネルギー貯蔵ソリューションを提供し、ネットゼロ社会の実現に向けた取り組みをさらに加速してまいります。

▽ トリナ・ソーラー (SH 証券コード: 688599) について

トリナ・ソーラーは太陽光発電およびスマートエネルギーのトータルソリューションを提供するグローバルリーダーです。1997 年に太陽光発電システムのインテグレーターとして設立されたトリナ・ソーラーは現在太陽光発電製品、太陽光発電システム、スマートエネルギーソリューションの3つの事業を世界 170 ヶ国以上において展開しています。トリナ・ソーラーは「新しい産業エコシステムを創造し、太陽光発電を中心としたスマートエネルギーソリューションの先駆けになる」という戦略目標を掲げ、電力システム改革を支援し、将来的なゼロカーボン世界の実現を目指しています。

日本においては、2010 年にトリナ・ソーラー・ジャパンを設立してから、国内需要に合わせて最先端のフルライン製品を展開。パートナーの皆様と多数の実績を達成してきました。

Trina Solar トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2 丁目 6 番 4 号常盤橋タワー2606

www.trinasolar.com/jp

【本件に関するお問合せ】

トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社マーケティング部 胡 wenjing.hu@trinasolar.com